

◆総務企画常任委員会委員長（小川義昭君） 総務企画常任委員会における審査の経過及び結果について御報告申し上げます。

当委員会に付託になりました案件は、議案第2号平成22年度白山市一般会計予算中、当委員会関係分を初めとする平成22年度予算案2件、平成21年度補正予算案1件、条例案3件及び事件処分案3件の合計9件であります。

これらの案件につきましては、3月11日に説明員から詳細に説明を徴し、慎重に審査を行い、その過程において出されました主な意見について申し上げます。

平成22年度白山市一般会計予算中、市民の歌制定事業については、昨年制定された市民憲章と同様、市民に歌い続けられるよう、市として一体感を持った啓蒙の普及に努められたい。また、行財政改革を進めていく中で、職員のモチベーションの確保に留意した体制づくりに努められたいとの意見が出されました。そのほか、地元中小企業者の育成の観点から、入札業者の選定、設計・監理の委託等については地域性に配慮した対応をされたいとの意見がありました。

以上の意見のほか、各般にわたり質疑がなされ、慎重に審査し、採決いたしました結果、いずれの議案も全会一致をもって原案どおり可決すべきものとして本会議に移すことに決した次第であります。

以上で、総務企画常任委員会の委員長報告を終わります。